

---

## ネットワンシステムズ株式会社との経営統合に向けた公開買付け開始を決定 ～両社の経営統合により、社会課題に対して新たな価値を提供し、 社会のデジタル化をリードする企業を目指す～

---

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSKといたします。)は、本日付の取締役会決議により、ネットワンシステムズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:竹下 隆史、以下 ネットワンシステムズといたします。)との経営統合に向け、同社の完全子会社化を目的として、ネットワンシステムズの普通株式及び新株予約権を公開買付けにより取得することを決定しましたので、お知らせします。また、ネットワンシステムズは、本日開催の取締役会において、本公開買付けに関して、賛同の意見表明をするとともに、ネットワンシステムズの株主の皆様が本公開買付けに応募することを推奨する旨等の決議をしたとのことですのでお知らせいたします。

### 1.背景

SCSK グループは、IT パートナーとして顧客に寄り添うことを企業文化とし、幅広い業種・業界におけるアプリケーション開発、IT コンサルティング、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO 等の経験・実績を有しています。

ネットワンシステムズは、ネットワークに強みを持ち、インフラ領域に特化したインテグレーターとして、最先端のインフラ製品(ハードウェア・ソフトウェア・クラウドサービス・AI基盤)を独自の知財・知見をもとに評価し、顧客に寄り添い、ICT基盤のライフサイクル全般を支援しています。

両社が属する IT 業界は、デジタル技術の進化に伴い転換点を迎えており、SCSK とネットワンシステムズはともに、先端デジタル技術の開発・活用・応用に注力した事業構造の抜本的革新、並びに非連続的な成長の必要性を認識し、その機会を追求してまいりました。このような状況のもと、両社は、経営の理念及び企業文化に対する考え方の親和性が非常に高いこと、両社の事業が相互補完関係にあることを背景に、将来的な事業構想及び戦略、両社が経営統合を実現した場合に想定される競争優位性、並びに市場・業界への影響について議論を重ねてまいりました。

### 2.目的

この度、SCSK とネットワンシステムズは、対等の精神に基づき有機的な経営統合を行い、高度かつ最新の IT インフラサービス技術とアプリケーションサービス技術を活用したソフトウェアエンジニアリングサービスの融合による事業構造の転換を目指します。また、これを実現するべく、本公開買付けの実施に合わせ、将来的な合併も見据えた経営統合及び公開買付けに関する契約書も同時に締結しております。本経営統合により、ネットワーク・セキュリティ・クラウドからデータ活用等のアプリケーションの提供までを一体化したデジタルサービスの展開等単なる資本提携・業務提携を大きく上回る様々なシナジー効果が期待できます。短期的には、以下に掲げるような、相互に取引のない顧客に対するクロスセルや付加価値の高いサービス提供等を通じて事業を拡大してまいります。

- (1) SCSK の主要顧客に対する、ネットワンシステムズのネットワークインテグレーションサービスを中核とするITインフラサービスの展開
- (2) ネットワンシステムズのエンタープライズ市場における主要顧客に対する、SCSK のシステム開発・保守・運用サービス
- (3) サーバを中心とした SCSK のインフラ運用サービスに、ネットワンシステムズのネットワークレイヤーサービスを組み合わせることで、サーバ、ネットワーク、セキュリティ、データセンター等の IT インフラ領域全般にわたる構築及び一体化した総合 IT インフラ運用サービスをワンストップで顧客へ提供
- (4) ネットワンシステムズが得意とする地方自治体顧客に対し、当社グループの地方自治体向けサービスを展開し、サービスラインナップを拡充した新たな事業を開拓

また、今後両社で検討を重ねていくことにはなりますが、SCSK は経営統合後の企業グループが中長期的に目指す事業構想として、具体的に以下の3つの注力事業を推進することで、先進性、成長性、収益性を更に向上させることを検討しています。

① ソフトウェアシステムの開発基盤・自動生成機能を付加した「デジタルインフラ PaaS 事業」

企業顧客向けに、ネットワンシステムズが保有するネットワークの仮想化技術、マルチクラウド・ハイブリッドクラウドの環境構築・運用支援の経験・技術・知見を活用し、あらゆるコンピューティングリソースを一括して供給するプラットフォームを提供、生成 AI を組み込んだノーコード・ローコード開発基盤機能も提供し、顧客の内製化要求にも対応するハイブリッドクラウド PaaS/IaaS サービスを展開します。

② 業務にかかる専門知見と先端デジタル技術を活用する「オフアリングサービス事業」

製造業や金融業等の特定産業をターゲットに、SCSK の生成 AI や、自らの知的財産を含むデジタルソリューションを集積し、ネットワンシステムズのネットワーク、セキュリティ商材を拡充し高度化された基盤上で、最善の組み合わせによる業務ソリューションを提供、顧客の事業革新を能動的に誘導するデジタル事業・業務プロセスのオフアリングサービスを展開いたします。

③ 「データインテグレーション・利活用プラットフォームサービス事業」

モビリティ・ヘルスケア・エネルギー等多種多様な産業・事業をターゲットに、ネットワンシステムズのネットワークインテグレーション技術を活用し、ネットワーク・IT インフラサービスを統合した各種事業データの統合管理分析基盤、データインテグレーション基盤を業種横断的に展開します。セキュアなネットワーク接続・エネルギー制約を考慮した基盤制御技術の上に蓄積されるビッグデータを用いて企業・産業間の連携を図るエコシステムを構築し、新産業の創生に貢献するサービス事業を展開いたします。

両社が一体となることで、双方が単独では実現が難しい新しい価値を創出し、日本の経済発展と社会課題の解決に貢献する、IT サービス業界の雄となる新たな企業体を目指し、SCSK グループ企業価値の一層の向上に努めていきます。なお、両社は、本構想を早期かつ確実に実現するためには、両社従業員の融合並びに両社事業の一体化が重要であるとの判断のもと、さらなる経営統合の具体的な方法として、ネットワンシステムズの完全子会社化の完了後に、2026年4月を期日とする両社の合併についての検討を開始する予定です。

### 3. ネットワンシステムズ株式会社 株式等の公開買付けの概要

対象会社	ネットワンシステムズ株式会社(証券コード:7518)
方法とプロセス	ネットワンシステムズの普通株式、新株予約権及び普通株式に係る米国預託証券を対象とする公開買付け(TOB) *TOB が成立し、全株取得に至らない場合は、株式売渡請求または株式併合の手続きを実施
公開買付期間	2024年11月7日(木)から 2024年12月18日(水)まで(30営業日)
買付価格	普通株式:1株あたり4,500円 (プレミアム11月5日終値:+25.91%、1カ月平均:+26.94%、3カ月平均:+30.66%、6カ月平均:+42.14%) 新株予約権:1個あたり1円
買付予定数	買付予定数:79,440,893株 買付予定数の下限:52,960,600株(ネットワンシステムズの株主総会において単独で特別決議を成立することを可能とするために取得が必要な株式数) 買付予定数の上限:なし
買付代金の総額	約3,600億円
資金の調達方法	当座預金及び有利子負債 *株式による資金調達は実施しない
2024年3月期実績	売上高2,051億円、営業利益195億円(日本基準)
その他	ネットワンシステムズが設置した特別委員会による答申を受け、2024年11月6日開催のネットワンシステムズの取締役会において、TOBに賛同するとともに、株主及び米国預託証券の所有者に対して応募を推奨し、新株予約権者に対して応募するか否かの判断を委ねる旨の決議がなされている
応募に関するお問い合わせ先	大和証券株式会社(公開買付代理人) 電話番号:0120-010101 平日:8:00~18:00(土・日・祝日・年末年始を除く) ※ご利用の際には、電話番号をお間違えないようご注意ください。

詳細は、2024年11月6日付[「ネットワンシステムズ株式会社\(証券コード:7518\)に対する公開買付けの開始及び資金の借入れに関するお知らせ」](#)をご確認ください。

#### 【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 清水

TEL:03-5166-1150

以上